

第 70 回宇宙安全保障部会 議事要旨

1. 日時

令和 8 年 7 月 30 日（木）13:00～15:00

2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局 大会議室

3. 出席者

（1）委員

鈴木部会長、片岡部会長代理、青木委員、洗井委員、石井満委員、石井由梨佳委員、井筒委員、遠藤委員（オンライン）、新谷委員（オンライン）、中須賀委員（オンライン）

（2）事務局

内閣府宇宙開発戦略推進事務局 風木局長、渡邊審議官、西野参事官、河原参事官、樋口参事官、奥田企画官

（3）関係省庁

国家安全保障局 岡本審議官
内閣衛星情報センター 尾西調査官
総務省国際戦略局 扇課長
外務省総合外交政策局 多久島首席
文部科学省研究開発局 島村補佐
経済産業省製造産業局 高濱課長
防衛省整備計画局 宇野参事官

（4）有識者

宇宙航空研究開発機構第二宇宙技術部門 河田参与
地経学研究所 梅田主任研究員

4. 議事要旨

（1）議題 1 「総務省の取組の進捗状況について」、総務省から資料に基づき説明した後、次のような議論があった。

○ 衛星ダイレクト通信については、スターリンクなどでもまだ細いバンドでしか実施できていないため、この部分は J-LE0 の大きな特徴と言えるのではないか。

（2）議題 2 「防衛と経済の好循環について」、防衛省から説明した後、次のような議論があった。

○ 防衛と経済の好循環は非常に重要であり、特に宇宙はデュアルユース性の高い分野である。三文書改定を踏まえ、防衛産業全般として「防衛産業戦略」を作る、あるいは米国のように「商業宇宙戦略」を作るといった取組も検討していくべきではないか。

- 光通信技術等については各省庁においても開発・実証が進められているため、各組織が連携して政府横断的に進めていくべきではないか。
- 防衛と経済の好循環においては、装備や技術を直接提供する企業だけでなく、これらを支える設備・試験装置等の開発企業にも着目すべきではないか。また、事業の波及効果については定量的に出していくことが重要ではないか。
- サージキャパシティを確保しながら経済の好循環を生み出すためには、輸出の促進が重要ではないか。

(3) 議題3「国際連携について」、外務省及び内閣府から資料に基づき説明した後、次のような議論があった。

- 現在2国間の宇宙対話・宇宙協議等を行っている国々のほかに、東南アジア諸国等ともより連携を深めていくべきではないか。
- 宇宙に特化した枠組み以外にも、全体会議の中で宇宙に触れている部分も多々ある。こうした場も活用しつつ、各省庁が連携しながら各国との協力を深化していくべきではないか。

(4) 議題4「米宇宙軍の予算動向と日本へのインプリケーションについて」、地経学研究所梅田主任研究員から資料に基づき説明した後、次のような議論があった。

- 宇宙は広大で主権がないため、陸海空のような従来の領域に輪をかけて多国間協力が重要ではないか。

(5) 議題5「企業における取組について」、石井満委員から資料に基づき説明した。

(6) 議題6「成長戦略における議論について」、内閣府から資料に基づき説明した。

以上